

# 2017年度 FD研修会 \* アンケート集計結果 \*

## ◆開催内容

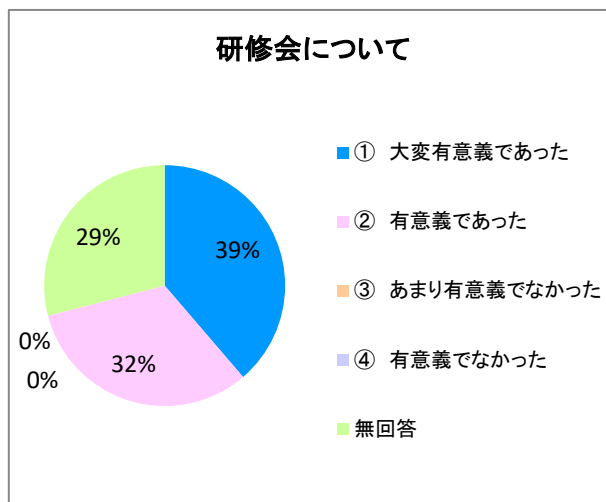
日 時 : 2017 (平成29) 年7月7日 (金) 16:50~18:00  
 場 所 : 京都ノートルダム女子大学 ユージニア館3階 アクティブラーニングスペース  
 テーマ : 「いのちを輝かす教育」  
 講 師 : 眞田 雅子 学長  
 コーディネーター : 現代人間学部 福祉生活デザイン学科 藤原 智子 教授

## ◆アンケート集計結果

参加者数 41名 (教員33名、職員6名、法人より2名 (理事長、事務局長))  
 回収数 31部 (回収率75.6%)

### 問1 所属について

所 属	人数	割合
① 教員・英語英文学科	4	12.9%
② 教員・人間文化学科	5	16.1%
③ 教員・福祉生活デザイン学科	5	16.1%
④ 教員・心理学科	3	9.7%
⑤ 教員・こども教育学科	5	16.1%
⑥ 教員・学長・副学長	0	0.0%
⑦ 職員	5	16.1%
その他	1	3.2%
無回答	3	9.7%
合 計	31	100.0%



### 問2 今回の研修会について

選 択 肢	人数	割合
① 大変有意義であった	12	38.7%
② 有意義であった	10	32.3%
③ あまり有意義でなかった	0	0.0%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	9	29.0%
合 計	31	100.0%

### 問3 今回の講演について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

1	棒付カードが面白かった。ミッション・コミットメントの実現、実践ということが、これまであまりわからずにいたが、例を示しながら話していただけて、自分自身の問題に引きつけて考えることができた。「人材よりも人物を」を大切にしていきたい。	教員
2	対話する、人材より人物、落ちこぼれに寄り添う、ミッションコミットメント……。理論的にはその通りであり、小生も日々生徒に寄り添った教育をしているつもり(研究室で個人面談1人8時間したこと...)である。しかし、なかなか現実には厳しいものがある。世間は今や人物教育をいくら謳っても学生は来てくれない。人材育成を求めるのみである。どんな資格や能力が身につくかのみを大学選択基準にしているようだ。プール学院大が人物教育、落ちこぼれ優先教育をモットーにして世に撃って出た(当時の小林学長から直接その気概を伺った)が、見事に失敗し、大学つぶれてしまった。しかしおっしゃるように、今の御時世、心を病み、苦しむ学生が多いことも事実である。カトリック大学として親身になってそのような学生に近づくことはとても大切。しかし、今のキャンパスミニストリーは同じメンバーの溜り場になっていてそのような「一見さん」がふらっと相談に入りにくい雰囲気になっている。何とかならないものか。Sr.仙頭もお気の毒である。生徒にやさしい教育も大切だが、一方で毅然と臨まなければならない局面も求められる。教職の教案作成で、ネット完全コピーで平然と授業をしようとする者が増えている。そのような場合きびしく接することが重要。教職につくのだから。一概になかなか同じ尺度で教育できる? すべき? ののか。考えさせられたお話であった。	教員

3	眞田学長のこれまでの学び、キャリアをお聞きし、ノートルダム教育に対する熱い思いを知ることができる貴重な時間でした。学生の思いを現実にし、社会に貢献できる人物を育てる手伝いをしたいと思います。先生のような取り組みを心がけたいと思います。	教員
4	最後の英語総合での学生とのやりとり、とても感銘しました。	教員
5	「人物」教育のためには、教員の「人材」教育が必要では？	教員
6	学長先生の教育姿勢が一貫して話されて大変ND的でうれしいことでした。ミッション・コミットメント実践の意欲を皆さんが高めて下さると期待しています。	その他
7	本学のミッション・コミットメントそのものが、一人の個人である人を育てるとともにつき合う時のとても重要なものであると考えています。	教員
8	ミッション・コミットメントについて、ND学で1年生と共に学びました。今一度、大切なことだと感じました。あと一つの問題点もおききしたかったです。ありがとうございました。	教員
9	学長先生のこれまでのカトリックや理論言語学との関わりについて知ることができました。	教員
10	「人材よりも人物を」というお話を伺えて良かったです。今の日本の教育で忘れられている大切な点だと思いました。本学の英語の授業が生き活きと実施されていることに感激しました。	教員
11	学生と同じ目線にたつて相手を尊ぶということを常に意識して職務にはげもうとあらためて思いました。	職員
12	VI章の内容をもう少しわしくうかがいたかったです。学長のお仕事たいへんなのに授業もたれていることいつも感じっております。	教員
13	暖かい人格がにじみ出た良いお話を有難うございました。	教員
14	”人物”で勝負できる世の中をつくるのも”人物”。	職員
15	わかりやすいお話で、学生への想いが伝わってきました。先生のお授業の様子、もっと聞きたいと思いました。1人1人と向き合う教育、努力していきたいと思います。よろしく願いいたします。	教員
17	学生に対する気持ちがわかりました。「固定観念からの脱出・人材よりも人物」心に強く残りました。ありがとうございました。	教員
18	これまでのご体験やエピソードをもとに貴重なお話をいただき、ありがとうございました。	教員
20	(「1. 所属について」を指して)このへんの誰かわかるようなアンケートで、学長に向けて意見を言うのは難しいと思います。みなさん遠慮すると思います。札をあげる形式でするなら、いつそのこと誰かと対話するような形で進行すると面白かったかなと思います。	無回答
21	「サン」で向かい合うということが、固定観念からの脱出というところとつながり、自分なりの理解ができたと思います。ありがとうございました。	職員
22	眞田学長のお人柄に近く触れられたいい機会でした。興味深く拝聴させて頂きました。ありがとうございました。	職員
23	教育にたずさわっていることを、改めて身を正して思い返しました。最後は熱い気持ちになりました。どうもありがとうございます。	無回答
24	”おちこぼす”教育について新しいお考えを聞くことができよかったです。自立した学生を育てることが本学の教育目標やミッション・コミットメントにつながることを再認識した。	職員

25	学長がこれまで学んできたキャリアが聴けてとても良い時間でした。こういう機会はあまり(ほとんど?)ないと思うので、貴重だと思います。	教員
26	ご経験に基づいたお話で、授業後少々回転が鈍くなっていた頭でも理解し、共感できるお話でした。ありがとうございました。	教員
27	1年生必修の「ノートルダム学」で、毎時間授業前にミッション・コミットメントを唱えさせています。なので、学生は覚えています。ので、教員も覚えなないといけませんね。	教員
28	レジュメのIV以降をもう少し詳しく拝聴したかった。	教員
29	ミッション・コミットメントをもった教員がおちこぼされた学生を社会人として送り出すことをする時、他の教員から足をひっぱられて落ち込むことがあります。	無回答
30	学長の人柄がよくわかる講演でした。	教員
31	数十年振りです。しかし、その年月が消えてしまったような気がします。「井上」先生が現前したような気がします。	教員

**問4 FD研修会全般について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。**

1	会場がアクティブラーニングスペースだったので、一列に並んで聞く講演とちがって聴き易かった。	教員
13	時間帯や長さはよかったです。	教員
18	このような機会を設定いただき、ありがとうございました。	教員
20	参加者も少し何かをするような形にしておくと、より印象に残ると思います。また、自分の問題意識にできると思います。札を上げる形式は、話す側が利用しないと参加者が積極的に参加する形にならないでしょう。	無回答

**問5 年度末に実施予定の「全学FD教員研修会2017」で取り上げてほしい内容やテーマがありましたら、ご記入ください。**

1	授業評価アンケートの信頼性について。学生が本当のことを書いているか。学生の苦情とアンケートの内容が矛盾している時、その結果について考えてみる機会がほしい。	教員
4	FD&キャンハラコラボで、ゼミへの不満対応(異動希望とか)をどうするか、みたいな企画はできないでしょうか？	教員
20	学生が能動性を発揮できる授業について考えるような内容がありがたいです。これまでのワークショップですと大学の授業内容と結びつきにくいものもあったので、大学の授業で実践できるものが参考になります。	無回答
25	性同一性障がいの学生への対応。本学の取り組みというよりは先進的な取り組みをしている女子大学からゲストを迎えてどういうことをしているかききたいです。	教員